

虎さん気合の章

今回は文礼の解説なく、淑虎の解説のみ。虎さん、黄耆剤についてはこだわりを持って解説している

桂枝加黄耆湯

触診が大事 感覚を大切にしている

医の掌を平らかに肌にあて、心胸より腹に至り、
軽くなで下ること幾遍もして肌膚の生気の旺衰を察すべし

表皮の乾燥と皮下の水気

肌膚温々たる中に
なんとなくむっくりとしたる意を含みたるものは
正氣旺ずるものとし
なんとなくガサガサとしたるように覚えて
肌膚腠理のしまりなく
胸肺の間はどことなく水気ありて満するの状あり

皮膚の表面は水が届かず乾燥しているが
皮下には水が停滞している

